

今年もやります！「本のりさいくるフェア」！！

図書館でいらなくなった本や雑誌を無料でお持ち帰りいただき、市民の皆さんの読書活動に役立てていただく「本のりさいくるフェア」が、今年も開催されます！

毎年好評いただいている、この「りさいくるフェア」ですが、今年は約1万冊の本・雑誌をご用意いたしました。お誘い合わせの上、どうぞお気軽にお越しください！

なお、開催に当たりましては「かもめ図書館フレンズ」および「小田原の図書館を考える会」の皆さまのご協力をいただいております。

- ・日 時：平成21年2月22日（日） 9時～16時（本がなくなり次第終了になります）
- ・場 所：小田原市立かもめ図書館（小田原市南鴨宮1-5-30） 2F 集会室・創作室
- ・問合せ先： 0465-49-7800

当日は大変混雑が予想されます。来館の際は公共交通機関をご利用ください。

「井上靖パネル展」を開催します

かもめ図書館では、平成21年2月14日（土）から2月26日（木）までの13日間、作家「井上靖（パネル）展」を開催します。場所はかもめ図書館正面エントランスホールです。この展示は、県立神奈川近代文学館で開催された特別展「井上靖展 詩と物語の大河 北国 氷壁 敦煌 しろばんば 孔子」（2003年秋開催）でご覧頂いた資料を中心に改めて皆様にご紹介するものです。

肖像写真のほか近代文学館の「井上靖文庫」資料から精選して、原稿、中国・西域取材ノート、遺品などによって井上靖の多彩な作品世界を紹介します。

- 主な展示パネル**
- ・ 作家への歩み 芥川賞受賞まで その生い立ちから彷徨の時代...
 - ・ 井上文学の世界 詩 自伝的作品 現代小説 芥川賞授賞式
 - ・ 歴史小説 風林火山 蒼き狼 本覚坊遺文 孔子など
 - ・ 洛陽から敦煌まで 第二回敦煌旅行など

井上靖について

1950年（昭和25）「闘牛」によって芥川賞を受賞した井上靖は、「しろばんば」、「闘牛」、「本覚坊遺文」など自伝小説、現代小説、歴史小説の名作を数多くのこし、作品の舞台は身辺や国内はもちろん、中国、西域、アメリカ、ロシアなどに及んでいます。（解説紹介から）



星崎記念館が今年、開館50周年を迎えます

桜、菖蒲、蓮や紫陽花の時期には美しい花々を楽しむことができる、自然が豊かな小田原城址公園の中、市立図書館として使用している星崎記念館が、今年、開館50周年を迎えます。50周年を記念して、さまざまな企画を予定しておりますので、どうぞお楽しみに！

ところで、「星崎記念館」という名前の由来について、皆さんはご存知ですか？

この施設は、昭和34年（1959年）に星崎定五郎氏の寄付によって建てられました。

幼い頃から苦勞を重ね、満20歳でアメリカに渡り、大きな成功を収めた星崎氏。子供の頃、貧しかったため、勉強する機会を与えられなかったのが、「子供たちが誰でも、自由に勉強したり、楽しんだりすることができる施設」を建てられるように、との思いから、米貨5万ドル（建設当時約1,800万円）を、自分の生まれた郷土・小田原市に寄付しました。そうして建てられたのが「星崎記念館」です。

星崎氏は、「誠実さ」と「ステップ・パイ・ステップ」(STEP BY STEP)(一步一步着実に歩む)ということを生活の信条として大きな成功を収められましたが、「至誠、勤勞、分度、推讓」を説いた郷土の偉人・二宮尊徳の考え方と業績に、様々な点で似ていることが分かります。今日の厳しい時代を生きる私たちは、二人の、「分」をわきまえて着実に前進する堅実さと、勤勞努力を重ねる生き様から、多くのことを学べるのではないのでしょうか。

「アメリカのカリフォルニア州でもっとも成功した日本人のひとり」と称えられる星崎氏を、さらに詳しくお知りになりたい方には、小田原市の図書館のホームページに「移民の先駆者 星崎定五郎」というタイトルで伝記を掲載しておりますので、この機会に一度お読みいただけましたら幸いです。

小田原と文学 尾崎一雄

明治32年三重県宇治山田生まれ、父八束が神宮皇學館教授だったため父の赴任地で出生した。七歳のとき宇治山田の明倫小学校に入学、翌年沼津小学校に転校、翌年下曾我に戻り千代小学校に転校した。明治45年に卒業後神奈川県立第二中学校(現小田原高校)に入ったが、4年生に作家の牧野信一・鈴木十郎が、また後に同級となる河野一郎がいた。在学中大正5年の夏休みに近所の家にあった「中央公論」に掲載されていた志賀直哉の『大津順吉』を読んで衝撃を受け、これが生涯にわたる志賀への傾倒と文学志望の動機となった。太平洋戦争中に胃潰瘍で倒れ、東京から下曾我に戻った尾崎は病と闘いながら生存5カ年計画を立てるなどして静養につとめ、以後生涯をこの地で過ごすことになったが、その晩年に至るまで郷里の自然や風物、周辺の人物を描いた。これで私小説・心境小説の大家として認められ、昭和53年には文化勲章を受章した。

本の予約状況(12月2日現在)

順位	書名(著者名)
1	流星の絆(東野圭吾)
2	ハリー・ポッターと死の秘宝④(J.K.ローリング)
3	ハリー・ポッターと死の秘宝⑤(J.K.ローリング)
4	ガリレオの苦悩(東野圭吾)
5	おそろし(宮部みゆき)
5	東京島(桐野夏生)
7	聖女の救済(東野圭吾)
8	夢をかなえるゾウ(水野敬也)
9	食堂かたつむり(小川糸)
10	告白(湊かなえ)

お願い：上記の本をお持ちで、読み終えてご不要になられた方は、ぜひ図書館にご寄贈ください。

情報発信コーナー/企画展示(市立)企画展示のコーナー(かもめ)

市立図書館(一般/児童)

- 1月 冬歳時記 / 日本の民話・昔話
- 2月 花粉の季節 / 冬から春へ(植物編)
- 3月 仕事アラカルト / 冬から春へ(動物編)

かもめ図書館(一般)

- 1月 「天地人」の世界
- 2月 日本とオランダの深く長い関係
- 3月 かもめ図書館員おすすめの作家

かもめ図書館(児童)

- 1月 冬の本 / アーノルド・ローベル
- 2月 日本ってどんな国?! / ディック・ブルーナ
- 3月 オススメの「絵本」 / たかどの ほうこ